



二中だより

さとく うつくしく たくましく

天童市立第二中学校だより 第3号

令和6年6月28日

文責：校長 鎌田さとみ

努力した分の成長がみられた地区中総体 二中生の本気の姿に感動しました！

6月15日（土）・16日（日）の2日間、東村山地区中学校総合体育大会が開催されました。日差しの強い中、熱中症指数を気に留めながらも、通常開催ができたことを嬉しく思います。各会場では、熱い試合と熱い応援が行われ、「中学生の部活動の集大成」を見ることができました。



私は壮行式で、次の2つについて話をしました。

- ① 特に3年生にとっては最後の地区総体。一つの部活動、競技を選び、ここまで続けてきたことに自信を持ってほしい。たくさんの支えがあったと思うが、悩んだときも最後に「やる」と決めて、ここまでやってきたのは自分自身だ。この地区大会を最大の目標に掲げ、自分を奮い立たせこの部活動を続けたのは自分自身だ。だからこそ悔いだけは残してほしくない。これまでの努力の成果を存分に発揮し、最高のパフォーマンスを期待する。
- ② 今年4月に将棋の町天童のために、羽生善治さんが、天童駅前に将棋の駒のモニュメントに揮ごうした。そのモニュメントには「克己復礼（こっきふくれい）」と刻まれている。それには、羽生さんの「相手がいなければ対局は成立しない、だから相手に対する敬意を忘れてはならない」というメッセージが込められている。中総体で対戦する地区内の中学生はライバルだから、絶対負けない、絶対勝つぞという闘志を燃やすと共に、戦う相手がいるからこそ、この試合、この対戦ができるのだという相手に対する敬意も忘れず、当日は正々堂々、頑張ってきてほしい。

大会の開催にあたり協力いただいた各地区の競技役員の方々、先生方、さらには、ご支援・ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。大会後に行われた「地区中総体報告会」では、各部の代表から結果報告がありましたが、結果だけでなく、仲間と共に最後まで精一杯戦えた「満足感」や後輩や保護者、顧問やコーチに対しての「感謝の言葉」が聞かれました。お互いの健闘を称えると共に、部活動で得たことを今後の中学校生活に生かせるよう期待しています。

地区中総体 栄光の記録

3位入賞および県大会出場を掲載 ★は県大会



◆野球 交流試合

山辺・中山 対 天童地域クラブ
(1勝1引き分け) ★

◆バスケットボール

男子 優勝★

◆バドミントン (男子)

団体戦 2位
シングルス 2位○○○○★
ダブルス 3位○○○○・○○○○ペア

◆バドミントン (女子)

団体戦 優勝★
シングルス 1位○○○○★
3位○○○○
ダブルス 2位○○○○・○○○○ペア★
3位○○○○・○○○○ペア

◆卓球 (男子)

団体戦 優勝★
個人戦 ○○○○ 1位★
○○○○ 2位★
○○○○ 3位★
○○○○ 5位★

◆体操競技

総合2位 ○○○○★
(ゆか2位、あん馬2位、
跳馬2位、鉄棒2位)

◆柔道

50kg級 ○○○○ 準優勝

◆陸上競技

<男子>

1年100m ○○○○ 2位★
1年1500m ○○○○ 2位★
2・3年1500m ○○○○ 3位★
共通3000m ○○○○ 3位
共通砲丸投 ○○○○ 1位★
低400MR 1位★

◆陸上競技

<女子>

2年100m ○○○○ 2位★
3年100m ○○○○ 1位★
共通200m ○○○○ 1位★
1年1500m ○○○○ 3位
共通走幅跳 ○○○○ 3位
共通400MR 2位★

◆水泳競技

<男子>

200m個× ○○○○ 2位(大会新)★
400m個× ○○○○ 2位★
100m背泳 ○○○○ 1位★
100m自由形 ○○○○ 3位
4×100mメドレー 2位★
4×100mリレー 3位★

<女子>

200m個× ○○○○ 1位★
400m個× ○○○○ 1位★



県大会出場の選手のみなさん、
おめでとうございます。

東村山地区の代表、天童二中の代表
として、目標を高く持ち、今後の練習
に取り組んでいきましょう。